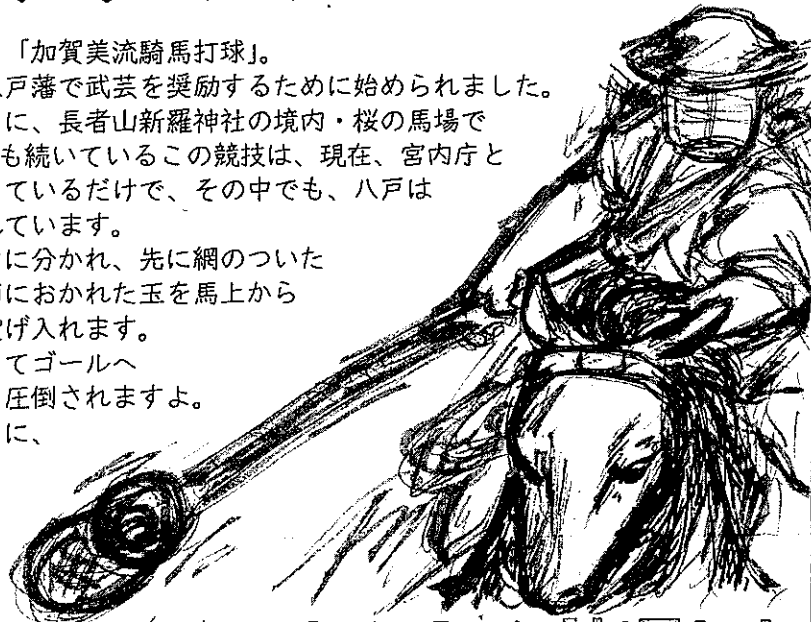


県民族無形文化財指定 加賀美流騎馬打球 (かがみりゆうきばだきゆう)

江戸時代中期より八戸藩に伝わる「加賀美流騎馬打球」。
名馬の産地で、馬術の盛んだった八戸藩で武芸を奨励するために始められました。
毎年、八戸の夏祭り三社大祭の中日に、長者山新羅神社の境内・桜の馬場で
奉納試合が行われます。180年以上も続いているこの競技は、現在、宮内庁と
山形県そして八戸市の3ヶ所に残っているだけで、その中でも、八戸は
最も古い形をとどめていると言われています。

武士に扮した若者が4騎ずつ紅白に分かれ、先に網のついた
2メートル以上もある長い棒で地面におかれた玉を馬上から
すくいあげ、ゴール(毬門)へと投げ入れます。
馬を手綱で巧みにあやつり玉を奪ってゴールへ
疾走するさまは、とても迫力があり圧倒されますよ。

豪華絢爛な三社大祭の山車とともに、
古式そのままの勇壮な姿を見に
木々にかこまれた神社の境内へ、
ちょっと足をのばしてみませんか？
(橋本)



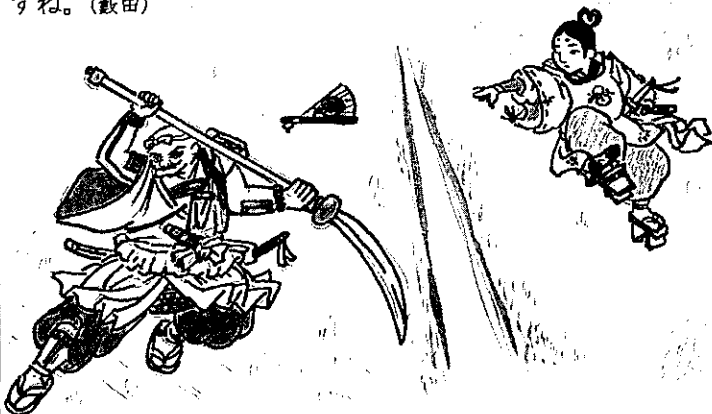
田んぼアート

青森県南津軽郡田舎館村では、田んぼをキャンバスに見立てて、色の違う稲を組み合わせ、7月中旬頃から8月中旬頃にはとても巨大な絵柄が浮び上がる「田んぼアート」に挑戦しています。

村役場の東側にある9090畳ほどの大きさもある約1.5haの田んぼに、去年は、こちらの地方のブランド米「つがるロマン」、古代米の紫稲、黄稲、葉色の白い稲、祝い茜の5種類の稲を使って、「戦国武将直江兼続」と「ナポレオン」のとても精巧な絵が鮮やかに浮び上がりました。村役場の最上階には天守閣造りの展望室があり、そこから本当に稲で描いているとは思えないほどの見事なアートが眺望できます。

また、田植え稲刈り体験ツアーも行っていて、参加するもよし、眺めてもよし。通算18回目となる今年は、「弁慶と牛若丸」に挑戦。

またどんな素晴らしいアートが浮び上がるか楽しみですね。(戴田)



まっしろ〜い「初雪たけ」

最近「白ブーム」で、白い食べ物がとても流行っています。変わった食材を食べたいという人が増えてきたせいもありますが、免疫力を高めたり新陳代謝をよくしたりと栄養価が高いことでも注目されているようです。

大根・白菜・かぶ・ねぎといった昔から食べ親しまれている以外にも、白なす・白かぼちゃ・白にんじん・白ゴーヤなど、今までになかった白野菜が急激に増えました。

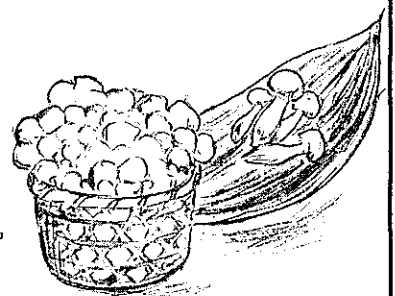
みなさんは、雪のように白いことから名付けられた「初雪たけ」というきのこを、ご存知でしょうか。

それはそれは珍しい、まっ白い「なめこ」で、全国どこを探しても青森県でしか栽培されていません。味は淡泊で、なめこ特有のヌメヌメ感が少なくシャキッとした食感です。

煮ても焼いてもくずれにくいので、首都圏の高級ホテルやレストランなどで好評価を頂いており、和食・洋食・中華とさまざまな料理に使われています。

鉄分・たんぱく質・カルシウムも豊富で栄養価が高く、しかも低カロリー。

「初雪たけ」は白野菜の中でも今一番のオススメです。
(村木)



第33号
平成22年6月

か
く
の
や
便
り

—《お客様のお声をお聞かせください》—

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思っております。

※今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。

イラスト: 東